

全鉄連流通動態調査結果表 2021年7月分

(2021. 8. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		6月実績	前月比	7月実績	前月比	7月実績	前月比	7月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,491	120.0%	36,819	91.8%	36,840	94.4%	6,470	99.7%	
	大阪	2,787	93.7%	15,980	93.3%	16,143	93.2%	2,624	94.2%	
	愛知	4,135	96.2%	4,460	119.2%	4,325	110.7%	4,270	103.3%	
	計	13,413	105.7%	57,259	93.9%	57,308	95.1%	13,364	99.6%	
形 鋼	山形鋼	東京	17,569	99.1%	7,930	86.8%	8,266	88.9%	17,233	98.1%
		大阪	21,275	95.9%	8,569	98.1%	8,236	85.4%	21,608	101.6%
		愛知	8,756	100.9%	4,604	102.5%	4,419	100.2%	8,941	102.1%
		計	47,600	98.0%	21,103	94.4%	20,921	89.6%	47,782	100.4%
	溝形鋼	東京	14,248	101.6%	5,038	84.8%	5,808	101.7%	13,478	94.6%
		大阪	11,956	91.9%	4,839	94.9%	5,716	93.0%	11,079	92.7%
		愛知	6,445	100.1%	2,773	85.2%	3,330	102.6%	5,888	91.4%
		計	32,649	97.6%	12,650	88.5%	14,854	98.3%	30,445	93.2%
	H形鋼	東京	32,248	98.2%	14,280	86.6%	16,879	98.9%	29,649	91.9%
		大阪	47,836	93.2%	23,414	93.3%	26,391	92.2%	44,859	93.8%
		愛知	17,232	109.3%	9,443	69.5%	10,497	86.6%	16,178	93.9%
		計	97,316	97.4%	47,137	85.4%	53,767	93.0%	90,686	93.2%
合 計		177,565	97.6%	80,890	88.1%	89,542	93.0%	168,913	95.1%	
コ ラ ム	東京	8,790	95.2%	2,348	95.7%	3,330	114.9%	7,808	88.8%	
	大阪	13,056	94.8%	2,012	81.7%	4,733	148.7%	10,335	79.2%	
	愛知	1,704	89.4%	963	46.4%	1,062	46.6%	1,605	94.2%	
	計	23,550	94.5%	5,323	76.2%	9,125	109.2%	19,748	83.9%	
軽量C形鋼	東京	3,273	96.2%	2,187	104.5%	2,017	90.9%	3,443	105.2%	
	大阪	3,001	100.2%	1,557	85.9%	1,687	93.4%	2,871	95.7%	
	愛知	2,834	104.6%	1,023	84.8%	1,037	95.8%	2,820	99.5%	
	計	9,108	100.0%	4,767	93.3%	4,741	92.8%	9,134	100.3%	
総 計		223,636	97.8%	148,239	89.9%	160,716	94.5%	211,159	94.4%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪19 愛知13 合計62社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。